

よねざわまちづくりフォーラムについて

(1) 実施概要

よねざわまちづくりフォーラムは、気軽な雰囲気の中、市民にまちづくりへの関心を高めてもらうとともに、まちづくりの課題について市民自ら解決方法・取組等を考え、米沢市総合計画後期基本計画（計画期間：令和3年度～令和7年度）に反映させることを目的として、全4回を開催しました。

多くの方に参加していただくため、広報・HP等での募集に加え、無作為抽出した500名の市民の皆様へ参加案内を送付した結果、11名の公募者と、各種団体からの推薦者26名を合わせた計37名の皆さまに参加していただきました。市の職員プロジェクトチーム18名も進行役として参加し、令和元年9月26日に第1回がスタートしました。

フォーラムでは、産業経済・教育学習・健康福祉・生活環境・社会基盤その他の5分野ごとの班に分かれて意見交換を進めてもらいました。

第1回フォーラムでは、「米沢の魅力や問題点について」自由に話し合っただけ、意見発表を行いました。第2回及び第3回フォーラムでは、「優先すべき項目と課題、課題に対する解決方法・取組について」意見交換を進め、班ごとにとりまとめました。

なお、各回の開催概要は次のとおりです。

回（開催日）	概	要
第1回 (9月26日)	1 主旨説明 2 米沢市まちづくり総合計画・米沢市の現状について説明 3 自己紹介 4 班ごとの意見交換（米沢の魅力や問題点について）	
第2回 (10月24日)	1 市民アンケート評価結果の説明 （施策分野ごとの満足度や重要度、暮らしの満足度等） 2 班ごとの意見交換 （分野ごとに優先すべき項目と課題について）	
第3回 (11月19日)	班ごとの意見交換 （分野ごとの課題に対する解決方法・取組について）	
第4回 (12月18日)	意見の発表	

(2) 意見交換分野について

よねざわまちづくりフォーラムでは、現行のまちづくり総合計画の基本目標に合わせ、次の5つの分野に分かれて意見交換を行いました。

1 産業経済分野	2 教育学習分野	3 健康福祉分野	4 生活環境分野	5 社会基盤・その他分野
(基本目標) 1 挑戦し続ける活力ある産業のまちづくり	(基本目標) 2 郷土をつくる人材が育つ、教育と文化のまちづくり	(基本目標) 3 子育てと健康長寿を支えるまちづくり	(基本目標) 4 自然と都市の魅力が調和し、賑わいと交流を促すまちづくり	(基本目標) 5 安全安心に暮らせるまちづくり 6 持続可能なまちづくり (協働・行政経営)
(区分) 商工業 観光 農林業 雇用	(区分) 生涯学習 学校教育 スポーツ 芸術文化 多様な文化 学園都市	(区分) 健康長寿 子育て 自立 支え合い 医療 社会保障	(区分) 住環境 土地利用 景観形成 道路、交通網 水(供給・環境) 情報環境 環境	(区分) 防災 安全 雪対策 協働 男女共同参画 行政経営 広域連携

【分野の内訳】

分野	公募者	団体推薦者	職員プロジェクトチーム	計
1 産業経済分野	2	6	3	11
2 教育学習分野	3	4	4	11
3 健康福祉分野	2	5	4	11
4 生活環境分野	4	3	4	11
5 社会基盤・その他 分野	1	7	3	11
計	12	25	18	55

【分野決定の際の基準】

公募者：公募時に選択した「自分の興味のある分野」に基づく
 各種団体からの推薦者 } それぞれの関係分野に基づく
 職員プロジェクトチーム }

よねざわまちづくりフォーラム 各分野の意見※

※第4回よねざわまちづくりフォーラム（令和元年12月18日開催）で提出された「よねざわまちづくりフォーラム意見書」に、各分野の代表者が当日発表した内容を補足したものとなります。

（1）産業経済分野

産業経済分野では、米沢市まちづくり総合計画の第1章（挑戦し続ける活力ある産業のまちづくり）に含まれる「商工業・観光・農林業・雇用」の中で、優先して取り組むべき項目と課題、その課題解決のための取組について話し合い、以下のような意見が出ました。

＜分野ごとの優先すべき項目と課題・解決のための取組＞

優先度1位	米沢の魅力が伝わる情報発信
課題	分かりやすい情報とそのツール
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・紙媒体とインターネットサイト両方で発信 ・サイトのイベント情報更新を早くする。 （市役所だけでなく、イベント企画者も情報をアップできるようにする。） ・米沢のイベントをすぐ知ることができるような見つけやすい代表的なサイト作り ・高齢者などの年齢に応じた媒体の活用 ・企業情報が分かりやすいサイト作り※ ・就活より前に、企業情報を学生に与える。※ ・米沢市のLINEアカウント開設

（発表内容補足）

※米沢市内の企業情報を、就職活動が本格化する前から市内大学生に積極的に情報提供することによって、市内大学生が米沢市に就職し、定住してもらうことにつながる。

優先度2位	米沢の魅力が感じられる環境づくり
課題	魅力的なイベントの展開と創生
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・体験型イベントを創出する。 （雪下ろしツアーや、雪灯籠づくり（祭り）） ・自然の中で遊ぶイベント※ （川遊びやキャンプ場の充実）※

(発表内容補足)

※自然の中で遊ぶイベントがあっても、情報発信ツールが乏しく十分な周知ができていない。
また米沢の自然を活かせるような施設（キャンプ場）などの整備が必要。

優先度3位	魅力的な雇用の創出
課題	長く働き続けられる環境づくりと人出の確保
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none">・米沢に住みたいと思わせる環境づくり※1・Iターン・Uターン者への支援・リタイア年齢層の人材活用※2・若者と企業及び教育機関とのサポート構築※3

(発表内容補足)

※1 米沢は、雪が多いが、災害に強く安全なまちということをアピールしていくことが重要。
※2 特に、農業など人手不足の分野で積極的にリタイア年齢層の人材を活用することが重要。
※3 若者の米沢離れを防ぐため、企業や教育機関が一丸となって若者を支援することが重要。

(2) 教育学習分野

教育学習分野では、米沢市まちづくり総合計画の第2章（郷土をつくる人材が育つ、教育と文化のまちづくり）に含まれる「生涯学習・学校教育・スポーツ・芸術文化・多様な文化・学園都市」の中で、優先して取り組むべき項目と課題、その課題解決のための取組について話し合い、以下のような意見が出ました。

<分野ごとの優先すべき項目と課題・解決のための取組>

優先度1位	子ども達が健やかに成長できる環境づくりの推進
課題	<ul style="list-style-type: none">・子ども達が参加できるイベントはたくさんあるのに、イベント日程が重なり、参加できない。・内容が似ているイベントがある。・主催者の高齢化により、イベントの継続が困難。・地域住民への情報発信、周知方法の工夫
優先度2位	大学と連携した学園都市の推進
課題	<ul style="list-style-type: none">・大学生と地域、小中高生と大学などの交流が少ない。・卒業後の定住が進んでいない。

優先度3位	多様な文化とつながり、交流するまちづくりの推進
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・英語教育の遅れ ・外国人留学生受入が少ない。

課題解決のための取組	<p>2班では、3つの課題に対する共通の解決方法・取組としてイベントやお祭りを積極的に活用することを考えました。その為には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント主催者同士での内容・日程調整を行う。 (整理・統合することにより、より皆が参加できるイベントに) ・米沢の懐かしいお祭りの復活(びっくり市など) ・参加型イベントの開催 ・子どもも、学生も、外国人も含めた全ての市民が主体的に参加・開催できるイベントを実施する。※1 <p>また、学生が卒業後も住み続けてもらうためには、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学として地域に入ることが重要※2 ・米沢において学生が起業できる風土づくりが必要
-------------------	---

(発表内容補足)

※1 全ての市民ができる範囲で主体的に参加できるようなイベント等を開催することは、将来を担う子供達が、米沢への愛着を育み、米沢に住み続けてもらうためにも重要。

※2 市内イベント・お祭りに学生が主体的に参加すれば、単位をもらえるような仕組が必要。

(3) 健康福祉分野

健康福祉分野班では、米沢市まちづくり総合計画の第3章(子育てと健康長寿を支えるまちづくり)に含まれる「健康・長寿・子育て・自立、支え合い・医療・社会保障」の中で、優先して取り組むべき項目と課題、その課題解決のための取組について話し合い、以下のような意見が出ました。

<分野ごとの優先すべき項目と課題・解決のための取組>

優先度1位	子育て支援
課題	生まれる前から大人になるまでの途切れ無い支援
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・出産できる環境づくり ・自然体験などたくましさを育てられる取組 ・社会全体での支え

	<ul style="list-style-type: none"> ・ロストジェネレーション世代 (注) の支え ・非正規雇用世代の支え ・富の分配方法や経済的支援 ・働く場づくり ・住宅購入・家賃・制服・入学祝金等の助成 ・結婚したいのかどうかに関わらない出会いのシステム ・お金の使い方教育 ・子どもを“ごしゃぐ (叱る)” 米沢市 ・男性の育休推進※ ・子育て支援をしている企業に対する補助金制度、連携 ・支援を必要とするもののアンケートをとる。 ・人手を借りられるような仕組 <p>(注) 1990年代後半から2000年代前半の「就職氷河期」に社会に出た世代</p>
--	--

(発表内容補足)

※市内で男性育休取得が進んでいないため、企業に積極的に働きかけることが必要。

優先度2位	支え合いのまちづくり
課題	人と人とのつながり
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・情報管理の枠を越えたつながり※1 ・一緒に災害時に避難できる情報管理 ・隣近所の人顔が分かるような関係づくり ・自主防災会活動での地区を越えた情報提供・連携の仕組作り ・若者のオンライン上でのつながりと親世代の顔を合わせるつながり ・個人ができることを登録できるようなデータベースづくり※2

(発表内容補足)

※1 災害時に、近所の人顔や家族構成などが分からなければ協力して避難することもできない。
 個人情報保護法が厳しい中、隣組などを維持し、顔が分かる関係を作っていくことが重要。
 ※2 有償・無償に関わらず、個人ができることを登録できるデータベースを作り、いざ支援が必要な時には、そのデータベースを参照し、必要な支援が迅速に届くようにしたい。

優先度3位	健康長寿
課題	健康で長生きできる仕組づくり

課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命を延ばす活動 ・公共交通の充実※ ・免許返納者への支援※ ・高齢者の就労枠の拡大 ・高齢者の有償ボランティアの仕組（クーポン券発行など） ・地域づくり等の無償ボランティア組織作り ・子育てピンチヒッターとしての活動ができる仕組 ・定額制乗り放題タクシー ・バス停留所を増やす ・夏休み・冬休み学童保育へ的高齢者参加 ・子どもと高齢者の交流の場 ・デマンド交通の拡充※
-------------------	---

（発表内容補足）

※高齢者が免許を返納しやすくするためにも、公共交通の充実やデマンド型交通の拡充が不可欠。

（４）生活環境分野

生活環境分野班では、米沢市まちづくり総合計画の第４章（自然と都市の魅力が調和し、賑わいと交流を促すまちづくり）に含まれる「住環境、土地利用、景観形成、道路・交通網、水（供給・環境）、情報環境、環境」の中で、優先して取り組むべき項目と課題、その課題解決のための取組について話し合い、以下のような意見が出ました。

<分野ごとの優先すべき項目と課題・解決のための取組>

優先度1位	住環境
課題	米沢の未来の街のあり方・デザイン
課題解決のための取組	<p><行政と市民が主体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・米沢の将来像やイメージを集約する※ （アンケートの実施やワークショップの開催） ・マスターデザインを決める（景観・まちの在り方※） <p><行政が主体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・強力な景観条例の制定 <p><事業所主体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の有効活用

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃校の活用 ・ 空きビルを山大サテライトに <p>⇒いずれも、市民・行政・事業所が一体となって進めることが必要</p>
--	--

(発表内容補足)

- ※ 米沢にふさわしい建築デザインや、居住エリアと商業エリアの明確化を進めることが必要。特に、観光客にとっては、駅前の景観・イメージは重要であるから、力を入れる必要がある。また、パリでは住民が洗濯物を表には干さない、古い建物を大切にするなどして景観を守っているように、米沢市民にも、米沢のまちなみを自分達で守るという気概が必要である。

優先度2位	情報通信
課題	情報通信の方法のイノベーション
課題解決のための取組	<p><行政主体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民に届くイベントや防災情報の発信方法の検討 ・ 情報発信の広域連携※1 ・ SNS等を有効的に活用した情報発信※2 ・ フリーWi-Fiの整備拡大※3 ・ 各種申請書の電子化 <p><事業所主体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米沢アプリの開発※4 (観光・生活情報等を発信) <p>⇒いずれも、市民・行政・事業所が一体となって進めることが必要</p>

(発表内容補足)

- ※1 災害被害状況等の防災情報は、市町村を越えて置賜内の住民が共有できるような仕組みが必要。
 ※2 インフルエンサーを活用する、米沢いいねAWARDを実施するなどが考えられる。
 ※3 市内全域にフリーWi-Fiを整備することで、当市が将来的には企業や住民に選ばれる可能性もあるため、積極的に整備を進めるといいのではないかと。
 ※4 既存の「モバ支所」アプリ等を使用

優先度3位	道路・交通環境
課題	使いたくなる公共交通機関が無い
課題解決のための取組	<市民主体>

	<ul style="list-style-type: none"> ・車から公共交通へ（出来るだけ公共交通機関を利用する） <p><行政主体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用ポイントの導入 ・スクールバスの有効活用※1 ・ニーズに合わせた路線や運行時間の見直し ・道路の雪対策※2 ・バスの運行情報アプリ <p><事業所主体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・レンタサイクルの充実※3 ・乗り物の開発※4 ・主要施設のターミナル化 ・指定路線の安価なタクシー ・JRとの連携 <p>⇒いずれも、市民・行政・事業所が一体となって進めることが必要</p>
--	--

（発表内容補足）

- ※1 スクールバス運行時間が高齢者の病院へ行く時間と重なるため、スクールバスを病院へ通うための移動手段として有効活用する方法が考えられる。
- ※2 バスが遅れないよう、道路の除雪を徹底するとともに、雪で埋もれてしまわないようバス停周囲の除雪も必要。
- ※3 市内の主要な場所等で、レンタサイクルを乗り降りできるような仕組みが必要。
- ※4 米沢ならではのデザイン等で、インスタ映えが期待できる乗り物を開発する。

（5）社会基盤・その他分野

社会基盤・その他分野班では、米沢市まちづくり総合計画の第5章（安全安心に暮らせるまちづくり）及び第6章（持続可能なまちづくり）に含まれる「防災、安全、雪対策、協働、男女共同参画、行政運営、広域連携」の中で、優先して取り組むべき項目と課題、その課題解決のための取組について話し合い、以下のような意見が出ました。

<分野ごとの優先すべき項目と課題・解決のための取組>

優先度1位	冬期も安全安心に暮らせるまちづくり
課題	雪対策
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者宅除雪ボランティアへのポイント付与制度の構築 ・学生を使った除雪を制度化する（ボランティアではなく） ・除雪が必要な箇所の把握※

	・町内と隣組単位での除雪に対する援助※
--	---------------------

(発表内容補足)

※除雪が必要な世帯(単身高齢者世帯など)を、町内・隣組単位で把握し、除雪を行っていく。その際、除雪道具の支給や除雪協力に対する対価を準備し、継続して除雪ができるような仕組みが必要。

優先度2位	いざという時に備える防災意識の向上
課題	防災意識の向上
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・各家庭へのハザードマップの配布(災害毎の避難場所の掲載) ・ハザードマップを活用した地域ごとの出前講座 (防災意識・危機感の醸成) ・災害時のシミュレーションを見せる※1 ・学校教育で逃げて身を守る学習機会の継続した提供 ・自主防災組織の構築時に必要となる個人情報の提供※2

(発表内容補足)

※1 堤防が決壊した場合等のシミュレーションを、映像で見せる。

※2 町内会等で、単身お年寄りのような支援が必要な世帯を把握しようとするのが大切。

優先度3位	普段から安全を心がける
課題	交通対策
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な交通手段の充実を図る ・高齢者を対象とした小型バスの運行 ・スクールバスの活用 ・世帯毎に負担する等とした公共交通機関の仕組み作り※

(発表内容補足)

※今は公共交通機関を必要としない人も、将来必要になってくることを考え、市民一人一人が公共交通機関にかかるコストを負担するような仕組みが必要。